みんなを一人にさせない
北九州教師養成みらい塾

みらい塾だより

令和２年７月２１日発行
北九州市立教育センター
ＴＥＬ　６４１－１７７５
ＦＡＸ　６４１－１８３３
【ホームページ】
http://www.kita9.ed.jp/eductr/
【Ｅメール】
admin@eductr.kita9.ed.jp

今回のみらい塾では、２２２名のみらい塾生が参加し、学びを深めました！

どのような教師になりたいか
子どもと一緒に成長できる教師　25％
子どもに信頼される教師　24％
子どもの気持ち…わかる教師　17％
子どもの話をよく聞く教師　8％
保護者に信頼される教師　5％
親しみやすい教師
その他

みなさんのワークシートや振り返りの意見を一部紹介します。

講座①「教職につくことについて思いを共有しよう」について

○　アンケート結果から、自分以外にも同じような不安をもっている仲間がいると分かって、少し安心しました。また、教師になりたいという同じ夢をもつ仲間の意見を知り、自分の中の思いを確かにすることができました。（大学２年生）

○　私はこれまで自分の理想とする教師像を同世代の友達と共有することに対し、少し恥ずかしさをもっていました。しかし、皆さんの力強い意見を知り、そんな思いをもっていることの方が恥ずかしいのだと思いました。自信をもって理想の教師像を目指していきたいです。（短大１年生）

○　みらい塾１期生の先輩方が実際に教師になって子供たちと接する様子を見て、子供の成長に携われることのやりがいや、教師として働くことへのイメージが湧きました。この動画を見て、私も早く教師になりたいと強く思いました。（大学４年生）

仲間と一緒に成長するぞ
安心
承認
挑戦

講座②「学級開きについて考えよう」について

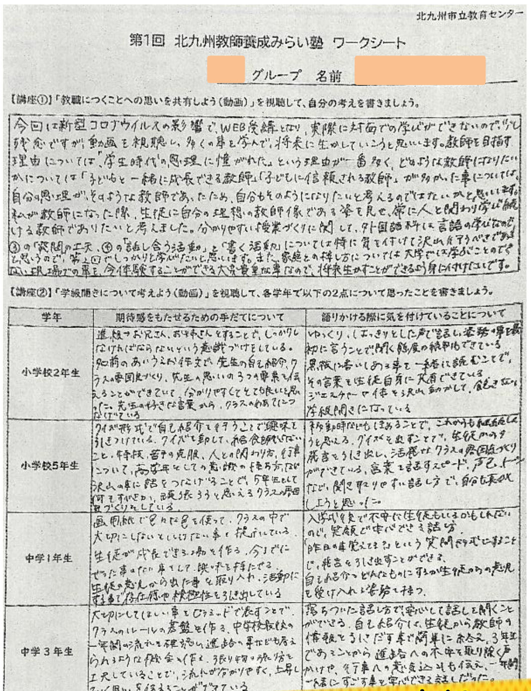
○　私は小学校教諭希望ですが、中学校の学級開きも見ることができたので、小学校と中学校の違いを感じることができました。（大学４年生）

○　模擬学級開きを実際に見ることができたので、より自分の中で学級開きのイメージをもつことができました。学年に応じた学校開きができるようになりたいと思いました。（講師）

○　学級開きは、子どもにとっても教師にとっても大事な場面であると再確認することができました。また教師という仕事は、試行錯誤の連続であり、大変だと思いました。しかし、逆に試行錯誤できるという教師の特権でもあるということも分かったので楽しみな気持ちが大きくなりました。（大学４年生）

○　「初めての進級、高学年になる、緊張している新入生、未来を見据えている最高学年」など、それぞれの学年の子どもたちの背景をしっかり把握して指導する重要性が分かりました（大学３年生）

○　学年に応じた話し方をすることやしっかりした思いをもって伝えようとすることの大切さを学ぶことができました。学級開きだけでなく授業等にも応用できる内容だと思うので、模擬授業の練習等にも生かしてスキルを身に付けていきたいです。（大学４年生）



北九州市立教育センター

第1回　北九州教師養成みらい塾　ワークシート

[redacted] グループ　名前 [redacted]

【講座①】「教職につくことへの思いを共有しよう（動画）」を視聴して、自分の考えを書きましょう。

今回は新型コロナウイルスの影響で、WEB受講となり、実際に対面での学びができないので少し残念ですが、動画を視聴し、多くの事を学んで、将来に生かしていこうと思います。教師を目指す理由については、「学生時代の恩師に憧がれた」という理由が一番多く、どのような教師になりたいかについては「子どもと一緒に成長できる教師」「子どもに信頼される教師」が多かった事については、自分の恩師がそのような教師であったため、自分もそのようになりたいと考えるのではないかと思います。私が教師になった際、生徒に自分の理想の教師像である姿を見せ、常に人と関わり学び続ける教師でありたいと考えました。分かりやすい授業づくりに関して、外国語科は言語の学びなので③の「発問の工夫」、④の「話し合う活動」と「書く活動」については特に気を付けて沢山行うべきであると思うので、第2回でしっかりと学びたいと思います。また、家庭との接し方については大学では学ぶことのできない現場での事を、今体験することができる大変貴重な事なので、将来生かすことができるよう身に付けたいです。

【講座②】「学級開きについて考えよう（動画）」を視聴して、各学年で以下の２点について思ったことを書きましょう。

学年	期待感をもたせるための手だてについて	語りかける際に気を付けていることについて
小学校2年生	進級→お兄さん、お姉さんをすることで、しっかりしなければならないという意識づけをしている。名前のあいうえお作文で、先生の自己紹介、クラスの雰囲気づくり、先生の思いの3つの要素を伝えることができていて、分かりやすくてとても良いと思った。先生の好きな言葉から、クラスのめあてにつなげている	ゆっくり、はっきりとした声で話し姿勢を最初に言うことで聞く態度の統一もできている。黒板に書いてある事を一緒に読むことで、その言葉を生徒自身に共有できている。ジェスチャーや体を沢山動かして、飽きない学級開きになっている
小学校5年生	クイズ形式で自己紹介を行うことで興味を引きつけている。クイズを通して、給食残さないこと、特技、苦手の克服、人との関わり方、行事について、高学年としての意識の持ち方など沢山の事に話をつなげることで、5年生として何をすべきか、頑張ろうと思えるクラスの雰囲気づくりをしている。	移動時なども褒めることで、これからも継続しようと思える。クイズを出すことで、生徒からの発言を引き出し、活発なクラスの雰囲気づくりができている。言葉を話すスピード、声色、トーンなど、聞き取りやすい話し方で、自分も真似しようと思った。
中学1年生	画用紙で色んな色を使って、クラスの中で大切にしないといけない事を提示している。生徒が成長できる場を作る、今までにやった事のない事として、興味を持たせる。生徒の意見から出た事を取り入れ、活動にする事で存在感や積極性を引き出している	入学式後で不安な生徒もいるかもしれないので、笑顔で安心できる話し方。「昨日の事覚えてる？」という質問形式にすることで、発言を引き出すことができる。自己紹介でどんなものにするか生徒からの意見を受け入れる姿勢を持つ。
中学３年生	大切にしてほしい事をピラミッドで表すことで、クラスのルールの基盤を作る。中学校最後の一年間の流れを確認し、進路の事なども考えられるような機会を作る。張り物の張り方を工夫していることで、流れが分かりやすく、上昇していく思いを伝えることができている	落ちついた話し方で安心して話しを聞くことができる。自己紹介に、生徒から教師の情報を引き出す事で簡単に答え、3年生であることから進路への不安を取り除く声かけや、行事への意気込みも伝え、一年間一緒にすごす事を安心できる話しだった。

どのみらい塾生もワークシートに
しっかりと学びを書いていました！

次回のみらい塾（８/30）も一緒に頑張っていきましょう！